



トイレ忘れ物ランキング 第1位は？

副校長 浜中 佳規

2019年がスタートして1か月が過ぎようとしています。時が過ぎていくのは早く、慌ただしい時期もあるかと思いますが、新年に決めた目標を時々思い出し、その実現に向けて一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。皆様にとってよい年になることを願っています。

私は昨年、疾患により病院へ行く機会が多々ありました。普段何気なくしている、食事、歩行、身支度等、今まで当たり前前にできていたことができなくなってしまった時期がありました。健康に過ごすことのありがたさを、身をもって感じることができました。そんなこともあり、今年は、何よりも健康第一で過ごしていきたいという強い思いがあります。この経験から、お年寄りの方々や体が不自由な方々に対し、相手の立場になって優しく接していくことの大切さを学ぶことができました。

ある病院のトイレのドアにこんな掲示物がありました。その掲示物には、～トイレ忘れ物ランキングベスト5～と記されていました。面白い掲示物があると思い、その内容をよく見てみると、第5位 傘、第4位 携帯電話、第3位 財布、第2位 バッグ、第1位は・・・なんと、「流し忘れ」でした。※ちなみにランク外は、番号札でした。ユニークであり人を引き付ける魅力ある掲示物だと思いつつ、私はトイレを後にしました。

この掲示物を見てから、過去に見たことがあるトイレの掲示物を思い出してみました。全てのトイレに掲示物がある訳ではありませんが、掲示物の中には、「流し忘れ注意」、「レバーをしっかりと押してください」、「ここを押す」等、ストレートに意図を伝えるものが多かったように感じます。そんなことから、今回見かけた掲示物は、トイレを使用した人の心理をうまくつき工夫された掲示物だと私自身感心しました。

学校現場では、日々子供たちにたくさんの指示を出します。教師の意図を子供たちに分かりやすく伝えていくことは、簡単なようで意外に難しいことでもあります。また、時代の変化に伴い、「伝え方」を工夫していかないと、大切な指示が伝わらないこともあります。「伝える力」というのは、大人にも子供にも必要な力であるとともに、教師にとっては、日々の学習指導や生活指導において、必要不可欠なものとなります。

ここに例を挙げます。全校朝会で、前に人が立っているのに私語が止まない場合、「静かにしなさい」、「おしゃべりをやめなさい」等は、ストレートで一般的であると考えます。そんな時に、「鳥の鳴き声がきれいですね」の一言で、全校が静まり返ったことがありました。また、子供たちが話を聞く姿勢が悪い場合、「背中をピンと伸ばしなさい」、「背筋をまっすぐにしなさい」等の指示は、ストレートで一般的ですが、「みんな良い姿勢でかっこいいですね」の一言で、姿勢が良くなったこともありました。伝えたい意図は同じでも、「伝え方」は様々です。状況によっては、ストレートに言った方が良い場合もあります。決まった形はありませんが、「伝え方」の工夫をすることは大切であると考えます。

自分の意図を相手に分かりやすくどのように伝えていくか、これからの教育の大きな課題です。この課題を保護者・地域の皆様と共に考え教育に活かしていきたいです。